

平成 29 (2017) 年 10 月 5 日

国立大学法人 九州大学

独立行政法人 都市再生機構 九州支社



# 九州大学

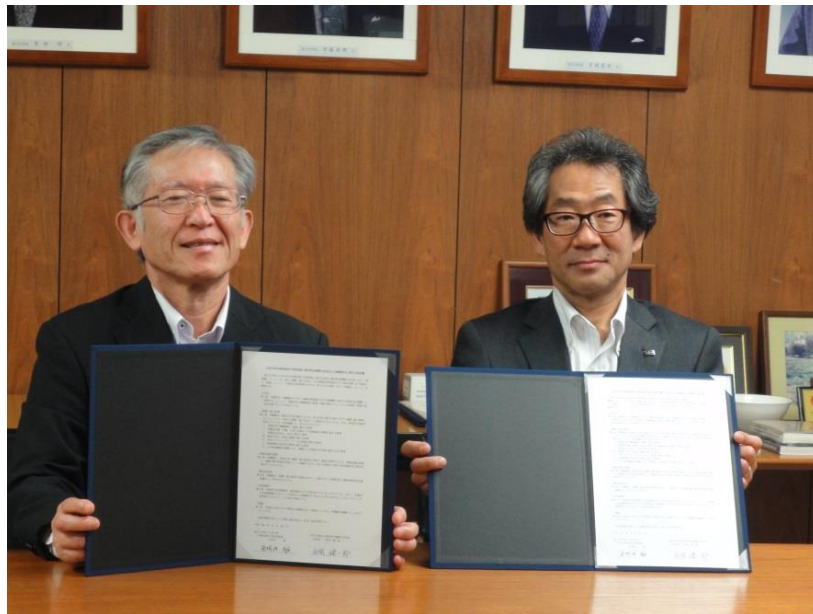
街に、ルネッサンス



# UR都市機構

## 九州大学大学院芸術工学研究院とUR都市機構九州支社が 連携協定を締結しました

国立大学法人九州大学大学院芸術工学研究院とUR都市機構九州支社は、UR賃貸住宅及びその周辺地域（以下「地域」といいます。）における今後の少子高齢社会の進行を見据えて、地域住民の健康福祉の増進、持続可能なコミュニティ形成など、地域の活性化に貢献することを目的として、平成 29 年 9 月 20 日に連携協定を締結しました。



(左)九州大学 安河内芸術工学研究院長

(右)UR都市機構九州支社 西周支社長

お問い合わせは下記へお願いします。

【九州大学大学院芸術工学研究院】

准教授 藤田 直子

(E-mail) [fujita@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:fujita@design.kyushu-u.ac.jp)

芸術工学部総務課企画・広報係

(電話) 092-553-4429

【UR都市機構九州支社】

住宅経営部 団地マネージャー 中村

(電話) 092-722-1023

総務部 総務課

(電話) 092-722-1004

## 1 背景

### 【九州大学大学院芸術工学研究院】

九州大学大学院芸術工学研究院の教育研究理念は「技術の人間化」であり、「技術の独走により人間疎外が生じないように人間精神の最も自由な発現である芸術と技術の基礎である科学を総合し、その全体的な精神によって技術の進路を計画しその機能を設計する」ことを目的としています。

本研究院の活動は、環境・少子高齢化・健康問題等人類が抱える諸課題を総合的に解決するための研究を推進し、地域社会の持続可能な発展に貢献する様々な取組を展開しています。

### 【UR 都市機構】

UR 都市機構は、その使命とする、高齢者をはじめ多世代がいつまでも安心して、ともに生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり（Aging in Place）を進めていくに当たり、従来から住戸内外のバリアフリー化他ハード面の改良を中心に取組んでまいりましたが、近年は居住者の方々の多様な居住実態やニーズに対応していくためソフトサービスの充実に併せて積極的に取り組んでおります。

九州支社ではソフトサービスの充実を図るため、ここ数年来福岡市内の複数の大学と連携協定を締結し地域の課題発見・解決に取り組んでおります。

## 2 連携協定の内容

(1) 本協定は、九州大学大学院芸術工学研究院とUR都市機構（以下「両者」といいます。）が連携・協力することにより、団地における少子化・高齢化などの諸課題に対応し、地域住民の健康福祉の増進、良好なコミュニティ形成などを進めることにより、地域の活性化に貢献することを目的とします。

(2) 両者は、この目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力します。

- ① 地域住民の健康維持・増進に関する事項
- ② 高齢者支援、介護、子育て支援などの地域福祉の推進に関する事項
- ③ 地域住民の安心・安全に関する事項
- ④ 地域の文化・経済の振興に関する事項
- ⑤ 学生のアクティブラーニングの推進に関する事項
- ⑥ 地域情報の共有及び発信に関する事項
- ⑦ その他両者の協議により、連携による取組みが必要と認められる事項

本連携協定により、UR室住団地（福岡市早良区）及び地域のコミュニティの活性化を図り、持続可能な交流が実施できるよう、共同して取り組んでいきます。

# コミュニティの持続・活性化に必要な 多様性・交流・連携

